

平成19年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校4年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点			
							算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
①	1	(1)		数と計算 3年	A(3)イ 2位数×2位数の乗法	乗法（2位数×2位数）の計算ができること。			○	
②		(2)		数と計算 4年	A(3)イ 2位数÷1位数の除法	除法（2位数÷1位数）の計算ができること。			○	
③		(3)		数と計算 4年	A(3)イ 3位数÷1位数の除法	あまりのある整数の除法（3位数÷1位数）の計算ができること。			○	
④		(4)		数と計算 4年	A(4)ウ 小数の減法	$\frac{1}{10}$ の位までの小数の減法の計算ができること。			○	
⑤	2	(1)		数と計算 4年	A(1)ア 大きな数の乗法	2位数×1位数を基に大きな数の乗法の計算の仕方を考えることができること。		○		
⑥		(2)		数と計算 4年	A(4)ア 小数の仕組み	0.7は0.1の7個分であることを理解していること。				○
⑦		(3)		数と計算 4年	A(4)イ 小数の仕組み	1.4は、2より0.6小さい数であることを理解していること。				○
⑧		(4)		数と計算 3年	A(5)イ そろばん	そろばんを用いて、簡単な加法の計算ができること。			○	
⑨	3			数と計算 4年	A(1)ア 億の数の表し方	十進位取り記数法を用いて、数を考えることができること。		○		
⑩	4	(1)		量と測定 3年	B(1)エ 重さ	はかりを用いて、重さを測定することができること。			○	
⑪		(2)		量と測定 3年	B(2) 量のおよその見当	測定できる品物を適切に選択し、およその重さの見当をつけようとする事。	○			
⑫	5	(1)		数量関係 4年	D(3)ウ 折れ線グラフ	変化の様子を折れ線グラフに表すことができること。			○	
⑬		(2)		数量関係 4年	D(3)ウ 折れ線グラフ	折れ線グラフから変化の特徴や傾向を考えることができること。		○		
⑭	6	(1)		図 形 3年	C(1)ア 箱の形	箱の形の面の数や形を理解していること。				○
⑮		(2)		図 形 4年	C(1)ウ 球	直径の長さに着目し、球の中心を通る直線の長さと箱のまわりの長さの関係を考えることができること。		○		
⑯	7			数と計算 4年	A(3)イ 整数の除法	除法が用いられるわけを考えることができること。		○		
⑰	8	(1)		図 形 4年	C(1)ア 二等辺三角形	二等辺三角形の定義を理解していること。				○
⑱		(2)		図 形 4年	C(1)ア 正三角形	条件から正三角形であることを考えることができること。		○		
⑲	9	(1)		図 形 4年	C(1)ウ コンパスの使い方	コンパスを使って、長さを比べることができること。			○	
⑳		(2)		図 形 4年	C(1)ウ 円の作図	コンパスを使って、円のもようをかこうとすること。	○			